

平成21年8月期 第1四半期決算短信

平成21年1月13日

上場会社名 株式会社 コシダカ
 コード番号 2157 URL <http://www.koshidaka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月14日

(氏名) 腰高 博
 (氏名) 酒井 幹雄

TEL 027-280-3381

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	3,329	—	△210	—	△212	—	△268	—
20年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	11,205.15	—
20年8月期第1四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年8月期第1四半期	9,620	—	1,904	—	19.8	79,372.36	—	
20年8月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 1,904百万円 20年8月期 一百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年8月期	—	—	—	3,600.00	3,600.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	3,800.00	3,800.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,739	—	440	—	360	—	106	—	4,450.37
通期	19,414	—	1,239	—	1,140	—	374	—	15,591.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第1四半期 24,000株 20年8月期 24,000株
 ② 期末自己株式数 21年8月期第1四半期 一株 20年8月期 一株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年8月期第1四半期 24,000株 20年8月期第1四半期 24,000株

1. 当社は、当第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、数値並びに対前期増減率については記載しておりません。
 2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
 3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱と信用収縮による欧米景気低迷長期化の影響を受け、景気の牽引役であった輸出が大幅に減少し企業部門の業績は悪化いたしました。そして、企業部門の不振による所得環境の悪化と資産価格低下による逆資産効果などにより、消費者物価の下落効果は発揮されず、個人消費も低迷しており、早期の景気回復を期待しにくい状況となっております。

当社グループの中核であるカラオケボックス業界においては、娯楽産業全体の多様化と消費者の娯楽ニーズの変化の中で、市場規模は緩やかな縮小傾向にあり、中小カラオケ店の閉店は相次ぐ一方で、大手チェーン同士の競合は高まりつつあります。

このような経済情勢と事業環境の中で、当社グループは当第1四半期連結会計期間において「カラオケ本舗まねきねこ」を、「居抜き出店方式」にて13店舗及び「建築出店方式」にて3店舗、合計16店舗の新規出店を行いました。一方、1店舗の閉鎖を行いましたので、当第1四半期連結会計期間末には289店舗となりました。カラオケボックス事業全体では43都道府県292店舗となり、連結売上高は3,283百万円となりました。

カーブス事業においては、新規出店は行なわず、連結売上高は45百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における当社グループの連結売上高は3,329百万円、連結営業損失は210百万円、連結経常損失は212百万円、連結四半期純損失は268百万円となりました。

(注) 当第1四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の状況

(1) 重要な会計方針

当社グループの財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められる会計基準に基づき作成しております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は3,054百万円となりました。主要項目としては、株式会社カーブスジャパンのグループ会社化等により、現金及び預金が1,689百万円に、売掛金が403百万円となりました。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は6,565百万円となりました。主要項目としては、カラオケボックス店の新規出店等により、有形固定資産が3,722百万円に、敷金・保証金が806百万円となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は6,000百万円となりました。主要項目としては、株式会社カーブスジャパンのグループ会社化等により、短期借入金が3,120百万円となりました。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は1,714百万円となりました。主要項目としては、カラオケボックス店の新規出店等により、長期借入金が1,690百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,904百万円となりました。主要項目としては、四半期純損失及び配当金支払により、利益剰余金が929百万円となりました。

(注) 当第1四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

(4) キャッシュ・フローの分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、期首と比較して873百万円増加して1,641百万円となりました。

状況と要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失266百万円、減価償却費301百万円、未払金の増加額212百万円、及び法人税等の支払210百万円を主な要因として28百万円の減少となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得による支出1,437百万円及び、新店舗の工事等の有形固定資産の取得による支出を主な要因として1,891百万円の減少となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期及び長期借入による収入3,141百万円、長期借入金の返済による支出240百万円、配当金の支払い86百万円を主な要因として2,794百万円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社の中核であるカラオケボックス事業は、売上及び利益の面での季節的な変動が大きく、忘年会シーズンを含む第2四半期（12月から2月まで）、ゴールデンウィーク（4、5月）を含む第3四半期（3月から5月まで）、及び帰省盆休みシーズンを含む第4四半期（6月から8月まで）と比較して、第1四半期は売上、利益ともに低水準となる傾向があります。

平成21年8月期の業績予想につきましては、本日（平成21年1月13日）別途開示しております「連結決算開始に伴う平成21年8月期連結業績予想及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、1株当たり予想配当金（期末：3,800円00銭）につきましては従来予想通りであり現時点での変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②法人税等の算定方法

法人税等の算定方法は、課税所得の計算における加減算項目及び税額控除項目を、重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,689,932
受取手形及び売掛金	403,510
商品	276,462
原材料及び貯蔵品	83,810
その他	606,080
貸倒引当金	△5,058
流動資産合計	3,054,737
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	2,019,573
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,542,178
土地	160,802
有形固定資産合計	3,722,554
無形固定資産	
のれん	1,509,751
ソフトウェア	222,207
その他	4,065
無形固定資産合計	1,736,024
投資その他の資産	
敷金及び保証金	806,194
その他	305,542
貸倒引当金	△4,651
投資その他の資産合計	1,107,085
固定資産合計	6,565,665
資産合計	9,620,402
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	305,134
短期借入金	3,120,422
未払法人税等	76,074
賞与引当金	122,408
預り金	814,307
その他	1,562,129
流動負債合計	6,000,476
固定負債	
長期借入金	1,690,902
その他	24,087
固定負債合計	1,714,989

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)
負債合計	7,715,465
純資産の部	
株主資本	
資本金	493,600
資本剰余金	483,600
利益剰余金	929,442
株主資本合計	1,906,642
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△1,705
評価・換算差額等合計	△1,705
純資産合計	1,904,936
負債純資産合計	9,620,402

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)
売上高	3,329,453
売上原価	3,042,679
売上総利益	286,773
販売費及び一般管理費	497,544
営業損失(△)	△210,770
営業外収益	
受取利息	202
受取配当金	7
協賛金収入	10,242
その他	5,301
営業外収益合計	15,754
営業外費用	
支払利息	12,324
その他	5,426
営業外費用合計	17,750
経常損失(△)	△212,767
特別利益	
固定資産売却益	16
特別利益合計	16
特別損失	
減損損失	46,192
その他	7,251
特別損失合計	53,444
税金等調整前四半期純損失(△)	△266,195
法人税、住民税及び事業税	9,621
法人税等調整額	△6,893
法人税等合計	2,728
四半期純損失(△)	△268,923

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△266,195
減価償却費	301,409
減損損失	46,192
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,108
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,580
受取利息及び受取配当金	△209
支払利息	12,324
有形固定資産売却損益 (△は益)	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	2,191
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,878
その他	102,565
小計	199,630
利息及び配当金の受取額	202
利息の支払額	△18,521
法人税等の支払額	△210,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△419,783
有形固定資産の売却による収入	200
無形固定資産の取得による支出	△5,780
子会社株式の取得による支出	△1,737,454
敷金及び保証金の差入による支出	△26,565
敷金及び保証金の回収による収入	2,313
定期預金の増減額 (△は増加)	△302,107
その他	△2,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,491,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,041,000
長期借入れによる収入	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△240,155
配当金の支払額	△86,400
その他	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,794,445
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	273,751
現金及び現金同等物の期首残高	768,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,041,938

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)

カラオケ事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,791,968
II 売上原価	2,650,487
売上総利益	141,481
III 販売費及び一般管理費	432,434
営業利益	△290,953
IV 営業外収益	25,925
V 営業外費用	9,507
経常利益	△274,534
VI 特別利益	144
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	△274,389
税金費用	9,636
四半期純利益	△284,026

(注) 前期は連結決算を行っておりません。